

☆ 第7回水質分析研修

環境保全協会では、分析技術の向上、精度の確保を目的に、クロスチェック分析研修を累計で118回実施しています。それと併せ、将来を見据えて、今後の分析業務の担い手を育成するために、分析業務の経験が少ない方を対象とした実践形式の研修を下記のとおり実施しました。

記

1 日時・場所

実習日時 令和5年11月17日(金) 9:30～16:30
11月22日(水) 13:00～16:30
場 所 静岡県環境衛生科学研究所

2 研修対象等

対 象 経験年数の少ない方(未経験者含む。)又は再度分析技術を確認されたい方
人 数 8名(2班編成にて実施)

3 研修項目・分析指導(分析指導:環境衛生科学研究所職員4名)

項 目 ・COD(化学的酸素要求量)分析
・BOD(生物化学的酸素要求量)分析
ヨウ素滴定法及び光学式(蛍光式)センサ法

4 研修時間割

11月17日(金) 午前:実習(おおよそのCOD値を把握)
午後:実習(COD及びBOD測定(0日目))
11月22日(水) 午後:実習(BOD測定(5日目))
分析結果評価・解析

5 参加者の感想

- ・BODの測定について、滴定法による手順の意味や器具の使用法、注意点など、この研修を通して学ぶことができた。
- ・希釈倍率を決定する考え方など、大変参考になった。
- ・光学式センサ法(DO計)による測定結果と比較することで、その特性を知ることができた。



分析手順の説明



【COD】 検水量の調整



【COD】 30 分間 沸騰水浴中で加熱



【COD】 滴定法による測定



【BOD】 希釈水をフラン瓶に分取し、密栓する



【BOD】 培養 5 日後、ヨウ素滴定法と光学式センサ法を用いて各班ごとに測定する



【BOD】 測定値に基づく計算・検討



講評・まとめ